

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	肥料等物価高騰に伴う農業者支援事業			基本計画	節		総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ			施策の方向	
課係名	農政課	内線			施策			施策	
担当者氏名			職名		主な施策展開			整理番号	

事業実施の経緯(現状)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、農業者は、経済的に厳しい環境下に置かれ、また、ウクライナ情勢等が拍車をかけ、原油価格や物価の高騰に伴い、農業に欠かすことができない肥料の価格も高騰しており、更なる負担が生じることが懸念されている。
-------------	---

めざす姿・ねらい(目標・目的)	物価高騰の影響だけではなく、米価の下落による収入減少など、農業者を取り巻く厳しい状況下において、当事業を実施することにより、農業者の一人ひとりの機運の向上と、農業経営の安定化を図る。
-----------------	---

実現するための課題(問題点)	①各農業者の取り組み規模や内容が多岐にわたるため、申請に合わせた的確な把握が必要である。 ②関連部署とも連携を図り、取り組む必要がある。
----------------	---

具体的な取組(解決策)	①農業センサス等の数値的資料や、関連部署と連携した情報交換により、あらゆる想定加味しながら申請を受け付ける。 ②関連部署と連絡を密にし、円滑な事務を遂行するための連携体制を整える。
-------------	---

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			4年度	年度	年度
■活動指標	①	-	-			
	②					
■成果指標	補助した農家数		本市における販売農家	881		

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②	
		③	④		
		補正予算要求理由	新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の活用に伴うため		

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 ~ 終期 ]		内容	

事業費の積算(千円)	年度	内容	4年度		事務スケジュール	年月   内容	
			事業費	人工数		4.10	4.11
4年度	①水稲作付面積10aあたり2,000円(上限30万円)令和4年度132,800a 26,560,000円 ②認定農業者等 一律50,000円 2,850,000円(57名) 上記以外の農家 一律20,000円 16,480,000円(824名) ②の合計19,330,000円 事務費(通信費等)1,010,000円	事業費	46,900	人工数	事務スケジュール	4.10	周知開始
		国債	46,900	人件費		4.11	申請受付開始
		市債				5.3	交付
		その他					
年度		一般財源	0				
		事業費		人工数			
		国債					
		市債					
年度		その他					
		一般財源	0				
		事業費		人工数			
		国債					
年度		市債		人件費			
		その他					
		一般財源	0				
		事業費		人工数			
年度		国債					
		市債					
		その他					
		一般財源	0				

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会環境や市民ニーズと整合があるか。</li> <li>・市が事業を行うことについて妥当であるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	コロナ禍により、農業者においても様々な形で、影響が生じており、加えて、昨今の農業肥料の価格高騰により、更なる負担が生じることから、支援が必要とされる。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。</li> <li>・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	農業者の負担を軽減することにより、安定した営農の継続を支援することができる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	担い手不足等、農家数の減少が懸念されているなかで、更なる減少が生じないためにも、農業者の意欲の維持に寄与することができる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。</li> <li>・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の活用を見込んでいる。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	事業費の積算と、制度設計を十分精査すること。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	計画どおり事業を実施することで、農業経営の安定化を図ること。
	■庁議による方針		
評価		具体的な方向性	
A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。	